

今期業況天気図

今期業況天気図

期間：令和3年10月～12月（売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較）

全業種総合の天気図は「小雨」。令和3年10月～12月期の総合業況DIは▲28と、前期▲28から変化なし。

業種別では、飲食業・サービス業のみが▲23（前期差5ポイント増）と若干の改善。建設業は▲32（前期差2ポイント減）、製造業は▲24（前期差3ポイント減）、と、ほぼ前期並み。小売業・卸売業が▲40（前期差5ポイント減）と若干の悪化が見られた。需要が戻りつつあった製造業と厳しい状況の建設業で、サプライチェーンの問題により資材不足・資材高騰が発生し、全体的に悪化が進んでいる。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲17	▲4	▲22	▲34	▲16
採算	▲28	▲23	▲31	▲43	▲23
仕入単価	▲54	▲75	▲66	▲56	▲37
販売単価	1	6	▲9	10	0
従業員	21	21	27	15	21
資金繰り	▲21	▲21	▲21	▲30	▲17
今期業況 (総合判断)	▲28	▲24	▲32	▲40	▲23
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。
快晴	晴れ	薄曇り	小雨	雨	
DI値 31以上	DI値 30～11	DI値 10～▲10	DI値 ▲11～▲30	DI値 ▲31以下	

参考)今期業況天気図の推移

	全産業	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
3四半期前 令和3年1月～ 3月期					
2四半期前 令和3年4月～ 6月期					
1四半期前 令和3年7月～ 9月期					
今期 令和3年10月～ 12月期					






今期業況天気図

今期業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

期間: 令和3年10月～12月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)






小規模事業者のみの全業種総合のDIは▲34で天気図は「雨」。飲食業・サービス業が▲28(前期差11ポイント増)で前期の落ち込みから改善が進んだ。一方、建設業が▲31(前期差12ポイント減)で前期の改善から再度落ち込んだ。製造業は▲38(前期差1ポイント増)と前期並み。小売業・卸売業が▲51ポイント(前期差6ポイント減)で落ち込みが続き、非常に厳しい状況である。






	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲26	▲19	▲20	▲52	▲24
採算	▲33	▲35	▲29	▲53	▲25
仕入単価	▲56	▲74	▲65	▲55	▲38
販売単価	▲2	▲3	▲10	7	▲1
従業員	17	18	30	11	10
資金繰り	▲25	▲31	▲21	▲40	▲19
今期業況(総合判断)	▲34	▲38	▲31	▲51	▲28
今期業況 天気図					

今期業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

期間: 令和3年10月～12月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合のDI値は▲15と前期の▲10からやや悪化し、天気図は「小雨」。製造業が▲2(前期差11ポイント減)で「薄曇り」と大きく悪化し、飲食業・サービス業が▲17(前期差2ポイント減)、小売業・卸売業が▲22(前期差5ポイント減)でやや悪化した。建設業は▲47(前期差±0ポイント)と厳しい状況が続いている。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲1	19	▲47	▲3	▲7
採算	▲18	▲5	▲53	▲27	▲19
仕入単価	▲53	▲75	▲76	▲58	▲37
販売単価	8	20	▲6	15	1
従業員	29	25	0	22	36
資金繰り	▲12	▲5	▲24	▲12	▲16
今期業況(総合判断)	▲15	▲2	▲47	▲22	▲17
今期業況 天気図					

業況天気図凡例					景気観測調査
 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30～11	 薄曇り DI値 10～▲10	 小雨 DI値 ▲11～▲30	 雨 DI値 ▲31以下	<<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図

令和4年1月～3月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

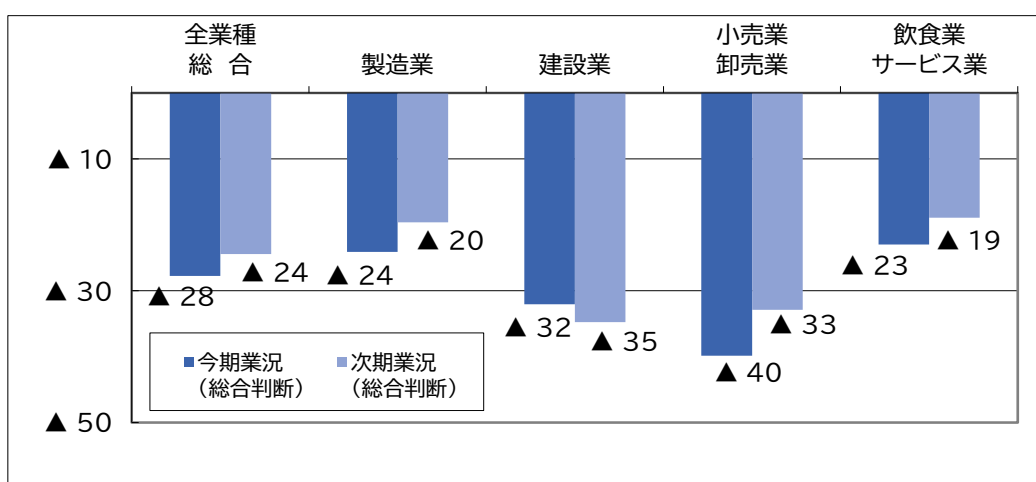
全産業の次期見通しの天気図は、▲24(今期差4ポイント増)で「小雨」と、若干改善の見込み。

産業別にみると、小売業・卸売業は▲33(前期差7ポイント増)と厳しい状況からの改善を見込む。製造業は▲20(今期差4ポイント増)と飲食業・サービス業は▲19(今期差4ポイント増)も若干の改善の予想である。建設業は▲35(今期差3ポイント減)は、若干の悪化の見込みである。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲16	▲9	▲24	▲22	▲13
採算	▲23	▲18	▲36	▲35	▲16
仕入単価	▲46	▲63	▲60	▲49	▲30
販売単価	1	4	▲15	6	4
従業員	21	19	25	16	22
資金繰り	▲18	▲16	▲21	▲24	▲15
次期業況 (総合判断)	▲24	▲20	▲35	▲33	▲19
次期業況 天気図					

業況天気図凡例					景気観測調査
 DI値 31以上	 DI値 30～11	 DI値 10～▲10	 DI値 ▲11～▲30	 DI値 ▲31以下	前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

参考) 今期と次期の業況DI



次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

令和4年1月～3月見込(売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員・次期業況DI値は今期との比較)






全産業の次期見通しは▲31(今期差3ポイント増)で、天気図は今期の「雨」のまま推移する見込み。産業別にみると、製造業は▲26(今期差12ポイント増)で、厳しい状況からの改善が期待され、小売業・卸売業は▲45(今期差6ポイント増)と改善の見込みも厳しい状況は続いている。飲食業・サービス業は▲25(今期差3ポイント増)と、若干の改善の見込み。建設業は▲34(今期差3ポイント減)で若干の悪化の予想。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲21	▲15	▲25	▲38	▲15
採算	▲28	▲18	▲36	▲45	▲20
仕入単価	▲47	▲63	▲60	▲41	▲30
販売単価	▲2	1	▲14	1	5
従業員	18	20	27	12	14
資金繰り	▲22	▲23	▲20	▲37	▲17
次期業況(総合判断)	▲31	▲26	▲34	▲45	▲25
次期業況 天気図					

次期見通し業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

令和4年1月～3月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、▲13(今期差2ポイント増)で、「小雨」のまま推移する見込み。産業別にみると、小売業・卸売業は▲12(今期差10ポイント増)で改善する見込みとなり、飲食業・サービス業は▲11(今期差6ポイント増)、建設業は▲41(今期差6ポイント増)と若干改善の見込み。前期好況だった製造業が▲10(今期差8ポイント減)と再度悪化する厳しい予想である。

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲5	1	▲18	5	▲10
採算	▲15	▲17	▲41	▲17	▲11
仕入単価	▲46	▲63	▲65	▲61	▲31
販売単価	5	9	▲18	15	1
従業員	26	18	6	22	34
資金繰り	▲9	▲6	▲29	▲2	▲12
次期業況(総合判断)	▲13	▲10	▲41	▲12	▲11
次期業況 天気図					

業況天気図凡例

 快晴 DI値 31以上	 晴れ DI値 30～11	 薄曇り DI値 10～▲10	 小雨 DI値 ▲11～▲30	 雨 DI値 ▲31以下
---	--	--	--	---

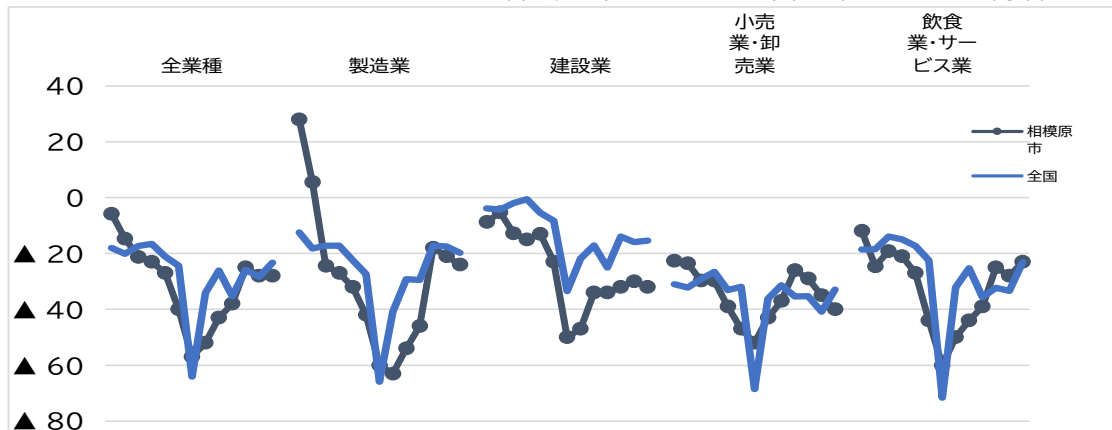
<<景気観測調査>>

前年度同時期の景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。

業況DI(前年同期比)の推移

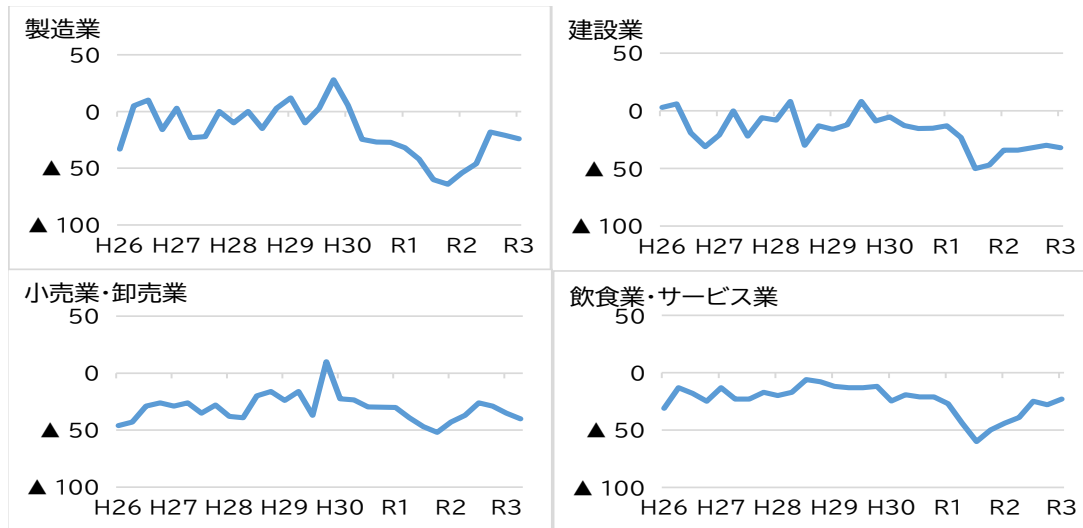
全産業の業況DIは、前期▲28から▲28(前期差±0ポイント)と変化なし。
 産業別にみると、飲食業・サービス業のみが、▲23(前期差5ポイント増)と改善。製造業が▲24(前期差3ポイント減)と前期に続いて若干減少。建設業は▲32(前期差2ポイント減)で前期並みであった。小売業・卸売業は▲40(前期差5ポイント減)はやや悪化。
 全国と比較すると、長期に渡って全国よりも悪い業況が続く建設業を除いて、ほぼ全国と同様な景況になっている。

(平成31年10-12月期～令和3年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



業況DI（特徴的なトピックス）

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

【製造業】

- ・受注量が激しく変化をし、対応がキツイ。受注がある時は急でやり切れないボリュームだったり、無い時は臨時休業を余儀なくされました。【工業製品塗装】
- ・仕入単価上昇が止まらない→採算悪化→転嫁できず。【機械加工】
- ・引き合いは戻りつつあるが、お客様との行き来がまだ出来なく、受注活動ができていない。ZOOMでは、なかなか難しい。【超音波バリ取り洗浄装置の製造販売】
- ・ガス、ガソリン等の高騰により、経費や仕入資材単価上昇による収益の圧迫。【段ボール製品製造、販売】

【建設業】

- ・民間の仕事（設計）が増加している。【建築設計・監理】
- ・短時間労働者を含めた人員不足あり、材料価格の高騰も課題。【官公庁発注工事を中心とした建築、土木工事業】
- ・昨年度より現場数が減少している。【住宅リフォーム、LPG販売】
- ・9月以降、木材値上げ、半導体関係する住機の納期遅れ。【リフォーム工事】

【小売業・卸売業】

- ・大手企業は円安で莫大な利益を出しているが下請けに反映されない。日本国内での物作りに力を入れてほしい。【電子部品商社】
- ・流行の商品が余りない。子供の来店減少。【玩具（男子、女子玩具）プラモデル、カード類、駄菓子】
- ・世界的に半導体などの部品不足のため新車の製造が減少している。それにより中古車も減少しており需要と供給のバランスが悪く、中古車の価格も上昇気味で、仕入数も少なくなった。【中古車、中古自動車部品等の販売及び輸出】
- ・コロナ禍において、外出自粛でアウター衣料の売上げが不振。【下着、化粧品、健康食品】

【飲食業・サービス業】

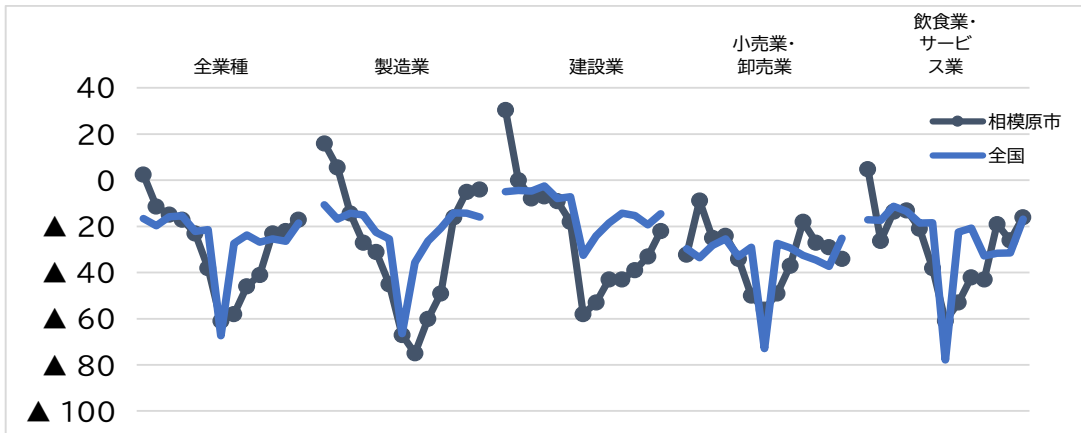
- ・平日夜の客足が伸びない。お客様の滞在時間がコロナ前より短い。そのため、客単価が低い。【割烹】
- ・周辺ホテルの価格競争により客単価上げることができず、客単価の減少。緊急事態宣言解除後、飲食店の時短解除後、稼働率80%まで回復している。【ホテル運営業】
- ・採用相場が高騰し、応募合戦状態。【人材派遣・構内請負業】
- ・コロナ禍の影響で大型のゴルフコンペやゲスト客の数は減少し、コロナ前には戻っていないが、健康的な屋外スポーツのゴルフ人気の流れに乗り、今年に入って新たな会員の入会件数が増えている。また売上面ではアクティブな会員の来場数が大きく伸びた為、増収に繋がっている。【会員制ゴルフクラブの運営】
- ・クライアントによる公的な補助金（助成金）がらみの受注が増加した。【編集・デザイン・印刷】

売上DI(前年同期比)の推移

全産業の売上DIは、前期▲22から▲17(前期差5ポイント増)と、改善。
 産業別にみると、飲食業・サービス業は▲16(前期差10ポイント増)、建設業は▲22(前期差11ポイント増)と大幅に改善。製造業は▲4(前期差1ポイント増)と前期並み。小売業・卸売業は▲34(前期差5ポイント減)で若干の悪化であった。

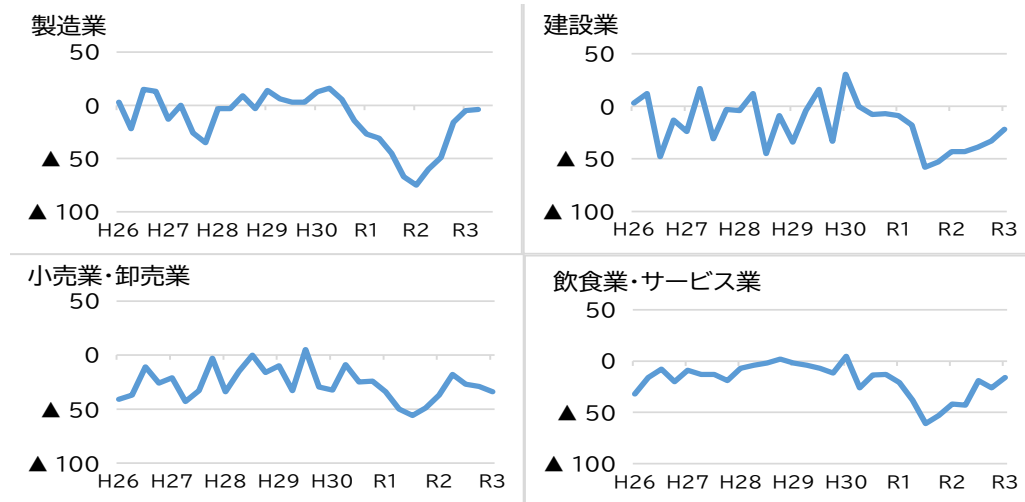
製造業は、前期に続いて安定した状況が続く。飲食業・サービス業は売上がかなり回復した。建設業も前期から変わって回復基調となった。小売業・卸売業は3期にわたって悪化傾向が続く、厳しい状況が続いている。全国と比較すると、当市においては特に製造業の回復が目立つ。

(平成31年10-12月期～令和3年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 売上DI (前年同期比)の長期推移(業種別)



採算DI(前年同期比)の推移

全産業の採算DIは、▲28(前期差1ポイント増)と、ほぼ変わらず。

産業別にみると、飲食業・サービス業が▲23(前期差5ポイント増)と改善傾向である。製造業が▲23(前期差1ポイント増)、建設業が▲31(前期差1ポイント減)と、前期並み。小売業・卸売業が▲43(前期差5ポイント減)と厳しい状況が続く。

製造業と建設業では売上が改善しているが採算の回復は停滞しており、前期同様資材価格の高騰の影響が出ていることがうかがえる。飲食業・サービス業は売上也回復基調で、新型コロナウイルス感染症が収まった影響が表れた。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、飲食業・サービス業の回復が早めである。

(平成31年10-12月期～令和3年10-12月期、前年同期比)

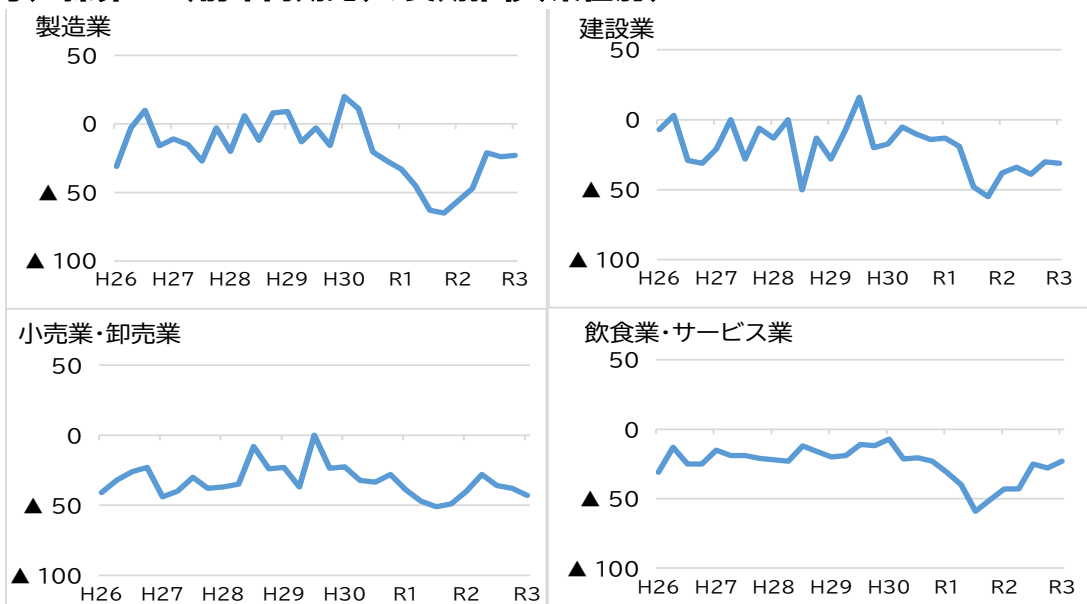


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

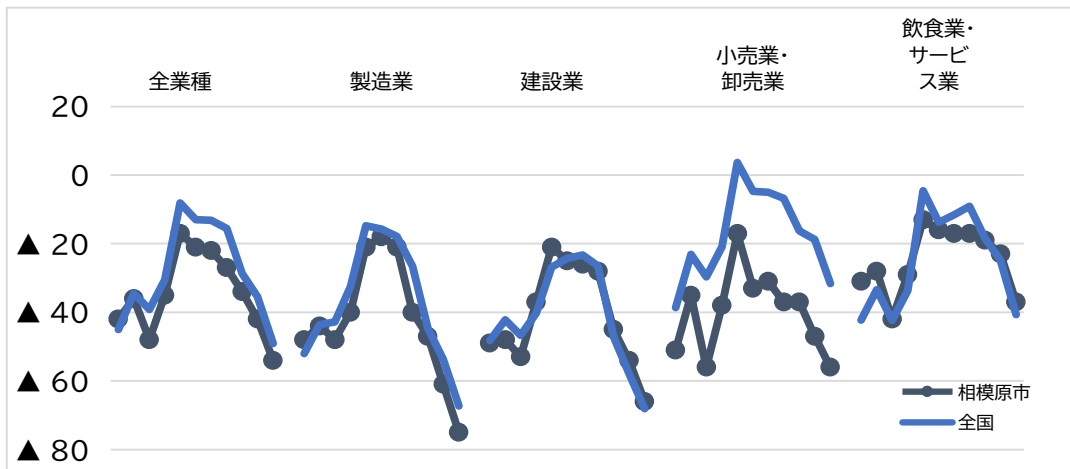
参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



仕入単価DI(前年同期比)の推移

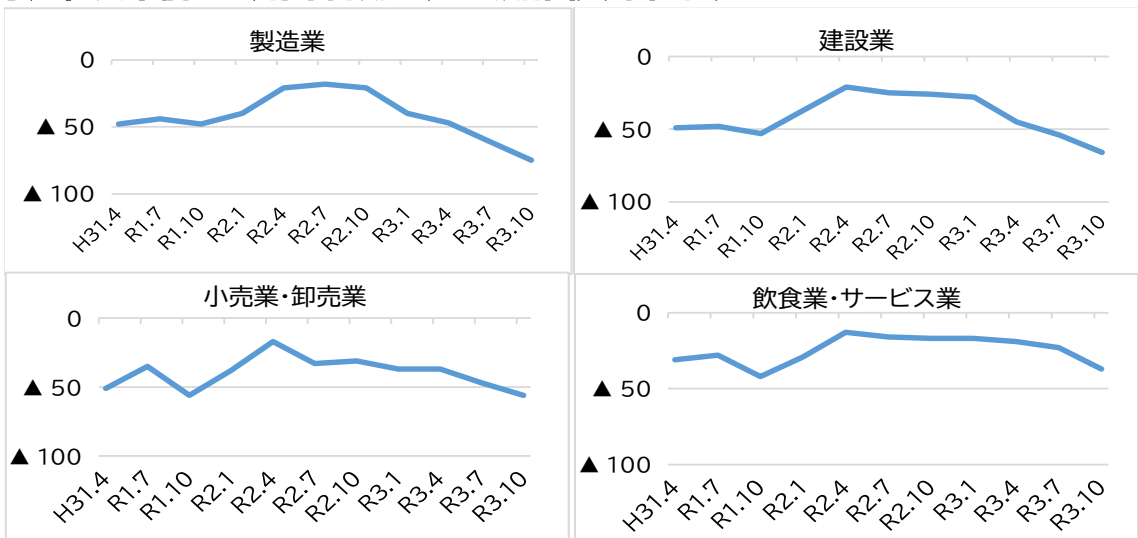
全産業の仕入単価DIは▲54(前期差12ポイント減)で、全業種にわたり大幅に悪化。
 産業別にみると、製造業は▲75(前期差14ポイント減)、建設業は▲66(前期差12ポイント減)と、大半の事業者が単価上昇に悩んでいる状況である。小売業・卸売業は▲56(前期差9ポイント減)、飲食業・サービス業は▲37(前期差14ポイント減)でも、価格上昇の影響を受け始めた。コメントによると、製造業や建設業では単価上昇だけでなくそもそもモノが入ってこないという声が聞かれる。業種によっては、需要は回復したが売るものがないという悩みが発生しているようである。

(平成31年10-12月期～令和3年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落-上昇、中小企業庁は「上昇-低下」で算出。
 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 仕入単価DI (前年同期比)の長期推移(業種別)



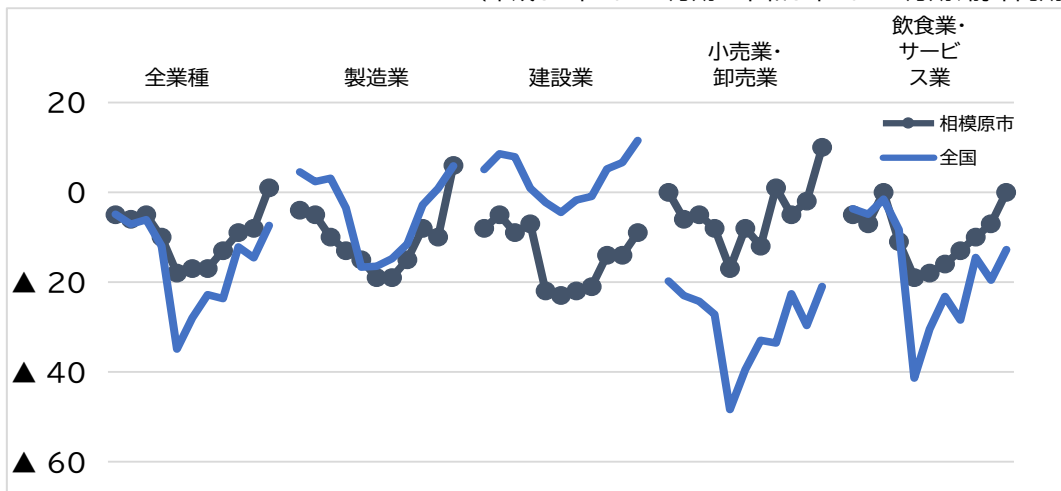
販売単価DI(前年同期比)の推移

全産業の販売単価DIは、1(前期差9ポイント増)と上昇。

産業別にみると、小売業・卸売業が10(前期差12ポイント増)、製造業は6(前期差16ポイント増)と、大幅な単価アップとなった。それら以外の業種でも、飲食業・サービス業が0(前期差7ポイント増)、建設業は▲9(前期差5ポイント増)と、改善している。生産財にはじまったモノ不足が消費財に影響し始め、長期に渡って続いたデフレ傾向が解消されつつあるようである。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、建設業の価格競争は依然として激しいようである。小売業・卸売業、飲食業・サービス業は、全国値より単価が高めで安定している。

(平成31年10-12月期～令和3年10-12月期、前年同期比)

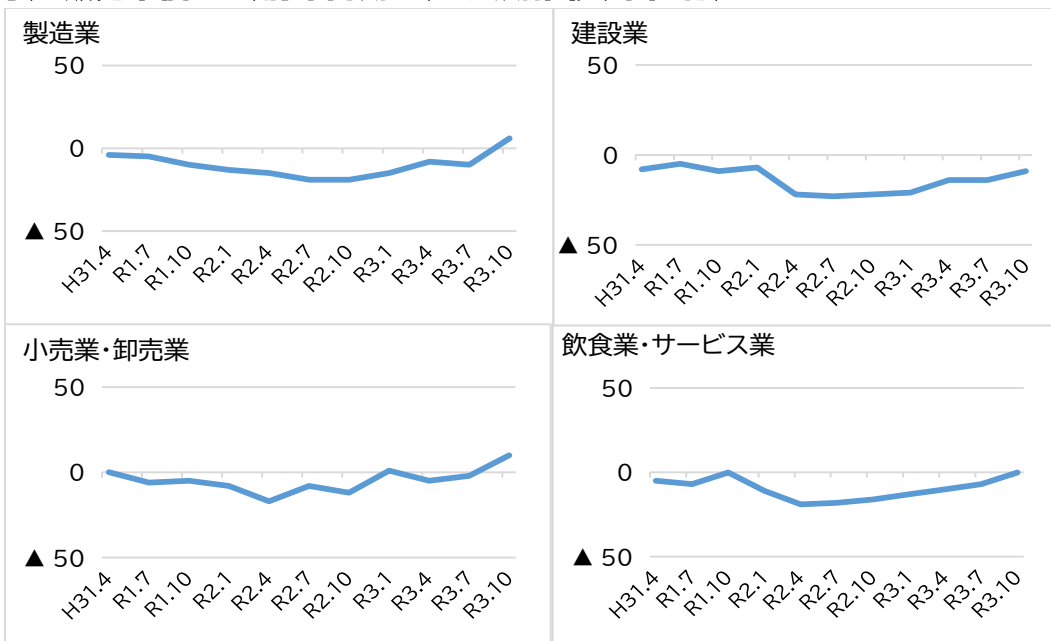


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「販売単価・客単価DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所 LOBO/建設業令和3年9月」分類の値を使用

参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



従業員DIの推移

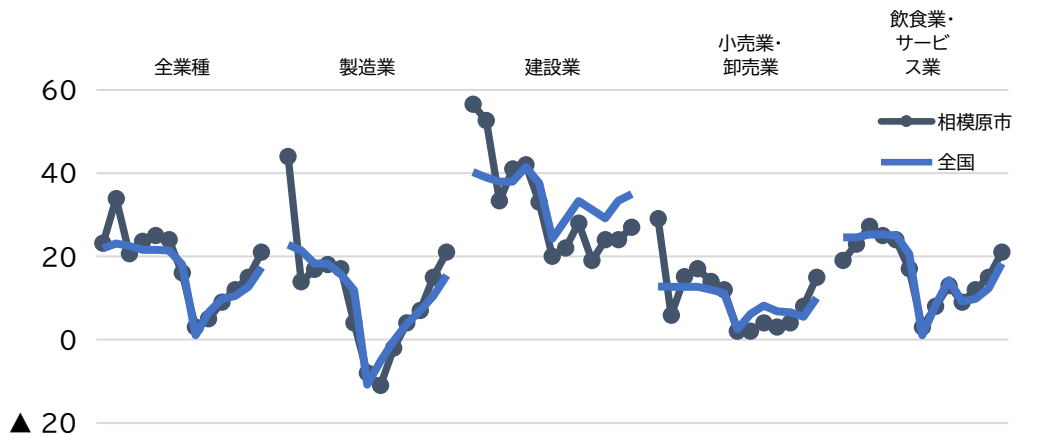
従業員DI(前年同期比)の推移

全産業の従業員DIは、21(前期差6ポイント増)で、増加。

産業別では、以前より人手不足だった建設業は27(前期差3ポイント増)に加え、製造業は21(前期差6ポイント増)、飲食業・サービス業は21(前期差6ポイント増)、小売業・卸売業が15(前期差7ポイント増)と、全業種で人手の不足感が上高まり、ほぼコロナ禍前の水準に戻った。

産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全国よりも不況感の強い建設業では低いが、それ以外の業種においては全国値より高い(人手不足感の高い)DI値である。

(平成31年10-12月期～令和3年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。

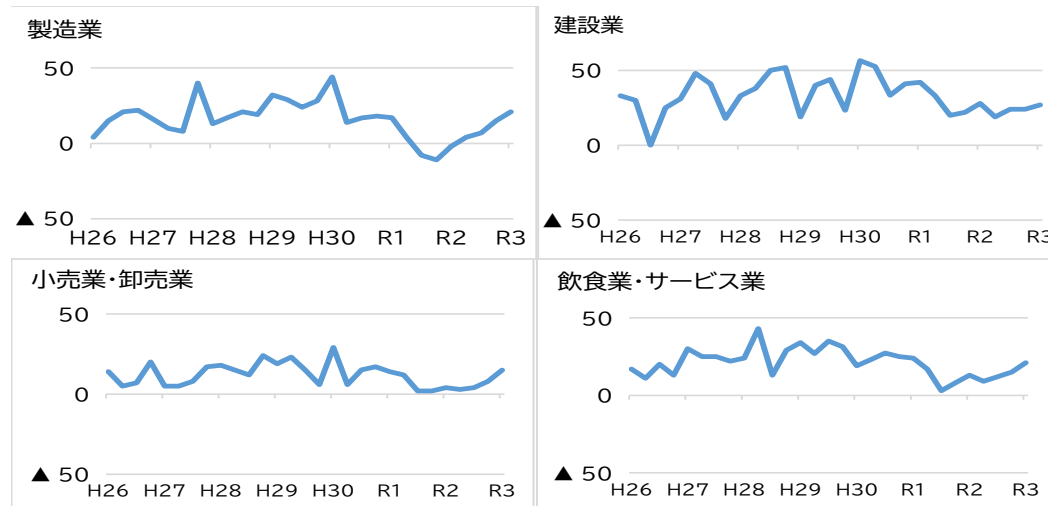
※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査

※従業員DIについて、当所では「DI=不足-過剰、中小企業庁は「過剰-不足」で算出。

比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



資金繰りDIの推移

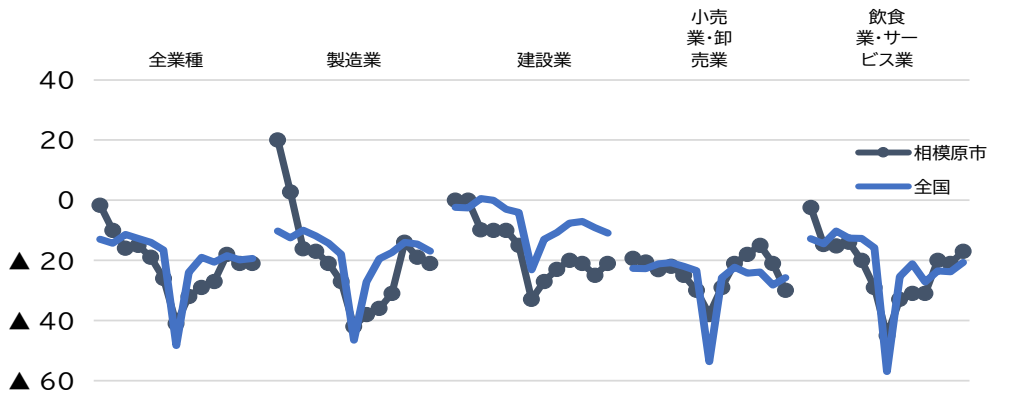
資金繰りDI(前年同期比)の推移

全産業の資金繰りDIは、▲21(前期差±0)と前期並みであった。

産業別にみると、飲食業・サービス業の▲17(前期差4ポイント増)とやや改善した。建設業は▲21(前期差4ポイント増)と前々期の水準に戻った。製造業は▲21(前期差2ポイント減)でやや悪化し、小売業・卸売業で▲30(前期差9ポイント減)の大幅な減少となった。

産業別に当市の今期の数値を全国値と比較すると、建設業では当市のほうが資金繰り状況が悪い状態が続くが、その他の産業は全国と同様の傾向である。

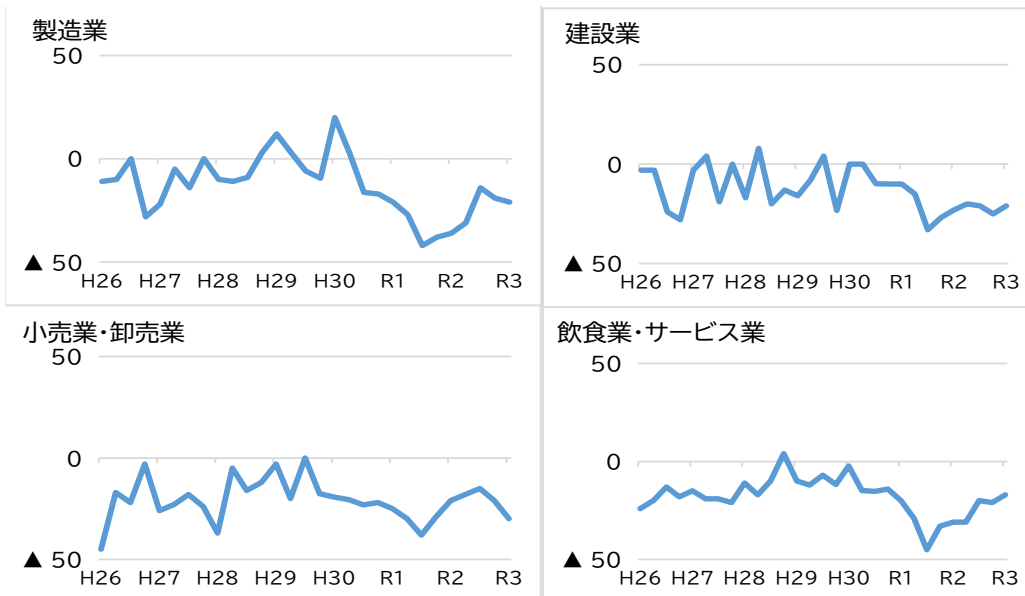
(平成31年10-12月期～令和3年10-12月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 資金繰りDI (前年同期比)の長期推移(業種別)



集計表(景気観測調査)

		今期(R3.10~R3.12)					次期見通し(R4.1~R4.3)				
		売上:増加 採算:資金:総合: 好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不变	売上:減少 採算:資金:総合: 悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値	売上:増加 採算:資金:総合: 好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足	不变	売上:減少 採算:資金:総合: 悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰	合計/DI値		
製造業	売上	カプル数	81	53	90	224	55	94	75	224	
		構成比	36	24	40	▲4	25	42	33	▲9	
	採算	カプル数	43	86	95	224	29	126	69	224	
		構成比	19	38	42	▲23	13	56	31	▲18	
	仕入単価	カプル数	0	57	167	224	0	84	140	224	
		構成比	0	25	75	▲75	0	38	63	▲63	
	販売単価	カプル数	38	162	24	224	27	179	18	224	
		構成比	17	72	11	6	12	80	8	4	
	従業員	カプル数	52	166	6	224	47	173	4	224	
		構成比	23	74	3	21	21	77	2	19	
資金繰り	カプル数	17	144	63	224	14	160	50	224		
	構成比	8	64	28	▲21	6	71	22	▲16		
業況	カプル数	33	104	87	224	27	126	71	224		
	構成比	15	46	39	▲24	12	56	32	▲20		
建設業	売上	カプル数	41	61	82	184	26	88	70	184	
		構成比	22	33	45	▲22	14	48	38	▲24	
	採算	カプル数	22	83	79	184	6	105	73	184	
		構成比	12	45	43	▲31	3	57	40	▲36	
	仕入単価	カプル数	1	61	122	184	2	69	113	184	
		構成比	1	33	66	▲66	1	38	61	▲60	
	販売単価	カプル数	17	133	34	184	9	139	36	184	
		構成比	9	72	18	▲9	5	76	20	▲15	
	従業員	カプル数	55	124	5	184	51	128	5	184	
		構成比	30	67	3	27	28	70	3	25	
資金繰り	カプル数	13	119	52	184	6	133	45	184		
	構成比	7	65	28	▲21	3	72	24	▲21		
業況	カプル数	19	87	78	184	8	104	72	184		
	構成比	10	47	42	▲32	4	57	39	▲35		
小売業・卸売業	売上	カプル数	34	37	87	158	36	51	71	158	
		構成比	22	23	55	▲34	23	32	45	▲22	
	採算	カプル数	15	60	83	158	20	63	75	158	
		構成比	9	38	53	▲43	13	40	47	▲35	
	仕入単価	カプル数	6	58	94	158	7	67	84	158	
		構成比	4	37	59	▲56	4	42	53	▲49	
	販売単価	カプル数	40	94	24	158	40	88	30	158	
		構成比	25	59	15	10	25	56	19	6	
	従業員	カプル数	27	128	3	158	29	125	4	158	
		構成比	17	81	2	15	18	79	3	16	
資金繰り	カプル数	8	95	55	158	10	100	48	158		
	構成比	5	60	35	▲30	6	63	30	▲24		
業況	カプル数	13	69	76	158	17	72	69	158		
	構成比	8	44	48	▲40	11	46	44	▲33		
飲食業・サービス業	売上	カプル数	92	147	157	396	73	199	124	396	
		構成比	23	37	40	▲16	18	50	31	▲13	
	採算	カプル数	57	192	147	396	45	242	109	396	
		構成比	14	48	37	▲23	11	61	28	▲16	
	仕入単価	カプル数	6	238	152	396	5	267	124	396	
		構成比	2	60	38	▲37	1	67	31	▲30	
	販売単価	カプル数	42	311	43	396	45	320	31	396	
		構成比	11	79	11	▲0	11	81	8	4	
	従業員	カプル数	92	295	9	396	98	287	11	396	
		構成比	23	74	2	21	25	72	3	22	
資金繰り	カプル数	30	267	99	396	26	286	84	396		
	構成比	8	67	25	▲17	7	72	21	▲15		
業況	カプル数	48	209	139	396	42	237	117	396		
	構成比	12	53	35	▲23	11	60	30	▲19		
全業種総合	売上	カプル数	248	298	416	962	190	432	340	962	
		構成比	26	31	43	▲17	20	45	35	▲16	
	採算	カプル数	137	421	404	962	100	536	326	962	
		構成比	14	44	42	▲28	10	56	34	▲23	
	仕入単価	カプル数	13	414	535	962	14	487	461	962	
		構成比	1	43	56	▲54	1	51	48	▲46	
	販売単価	カプル数	137	700	125	962	121	726	115	962	
		構成比	14	73	13	1	13	75	12	1	
	従業員	カプル数	226	713	23	962	225	713	24	962	
		構成比	23	74	2	21	23	74	2	21	
資金繰り	カプル数	68	625	269	962	56	679	227	962		
	構成比	7	65	28	▲21	6	71	24	▲18		
業況	カプル数	113	469	380	962	94	539	329	962		
	構成比	12	49	40	▲28	10	56	34	▲24		

集計表(トピックス)

製造業
令和3年10月～12月は加工依頼が多くなったが、令和4年1月以降は受注件数が減ってしまっている。【溶接板金、精密板金、製缶加工】
臨時雇用も含めて、労働力不足に苦慮している。【半導体製造装置向けの板金製品】
良いか悪いか微妙な感じですが、良いと思っても瞬間的な感じですが。【発泡スチロール断熱材】
来年の春に増産の話があるがまだ油断できない、何があるか分からないと感じている。【金属加工、切削加工を行なっている。主に自動車、建機、工作機械や装置の部品加工】
溶接作業員をハローワークに求人していますがなかなか求職者が来ません。条件が悪いのでしょうか。
部品不足。【ハーネス加工】
部品の入手性。【産業用レーザー機器製造】
部品の入荷遅れ・納期未定が多く生産スケジュールが立てられない。【電子機器・PC 周辺機器】
部品の入荷が不安定。【UVLED 製造】
部品の調達が進まない(物不足)、注文があってもいつ販売できるかわからない。【工業用機械制御装置】
部品が入荷しない現象が続いてます。【ケーブル加工、制御盤等の組立、配線】
部品が入ってこない。【自動機的设计製作】
繁忙となると、残業規制(45h)などの対応が厳しくなる。(柔軟な法にしてほしい)【建設機械部品】
半導体不足の影響を受け電気部品が手に入らなくなりました。その為、先送りになる工事が増えてしまいました。【制御盤製作、電気工事】
半導体不足の影響。【縫製品】
半導体不足に端を発し、電子部品の納期の逼迫が電機業界の大混乱を招いている。1年以上の納期となっている電子部品があり(多重発注)、その材料の供給が滞っている。この混乱は、2022年内では解消できない予測があり、需要の減退に繋がらなければ良いと思っています。【電子部品製造販売】
半導体不足がいつまで続くのか。【輸送車両部品】
半導体入手困難による売上月の変動や、工程管理が大変である。【計測器・検査装置製造】
半導体需要が良化、原材料の供給不安定。【ふっそ樹脂チューブの製造・販売】
半導体関連の影響は大きいと思います。【精密部品加工業】
半導体に対応出来れば仕事はあるが、技術者数が限られる。【金属部品製造・販売】
半導体が手に入りづらく、受注してから納品までの期間が長くなり、資金の巡りが悪くなっている。【鉄道会社の変電所で使用する計測器の製造、販売、設置工事】
売上減。【金属製品塗装業】
年度末のかけこみで、4月以降はまだわからない。【立体造形(モニュメント等々造形物製作・施工)】
内示・受注に対し直前での売上減少等あり。【ねじ、ボルト】
電子部品が入荷しない為に、生産停止。【理科学用ポンプ、及びシステム・請負、組立、配線】
電子部品、制御機器が世界的に不足していることで入手困難。お客様への納品に支障が出ている。【産業機械装置の電気設計、ソフトウェア設計および制御盤等の製造】
鉄鋼業の不振。【金属合紙の製造】
鉄をはじめとした素材の高騰に伴う原材料価格の上昇による採算の悪化。【ショットブラストおよび塗装】
粗利率の減少。【キャンピングカー製造販売、自動車アクセサリ製造販売】
全体的に製造業が活発なためか、人材採用について問題を抱えている。そのためか外国人人材の活用へのアピールが多く、しかしながらそれらの人材に信頼のおけないことから採用には踏み込めない。相模原に工業人材を輩出する学校がないのが最大の問題である。【工作機械部品、半導体製造装置部品、産業用ロボット部品】
前期、同時期と対比し、良化しており、期末には好決算を期待。【輸送機用部品加工】
先行の不安。【キャンピングカー製造販売、自動車アクセサリ製造販売】
正社員、パート、派遣社員全てにおいて不足及び単価上昇で確保が難しくなっていると感じる。【プリント基板穴あけ加工】
世界経済の急速な回復により、市場から製品の不足が著しい為、必要な物資が入手しづらい状況となっている。【省力機器・組立治具・装置の設計製作】
新型コロナの影響が大です。【新建材・木材販売】
新型コロナウイルスの影響。【臨床検査薬の開発、製造、販売】

新たなコロナウイルスによる先行きの不透明感。【自動車用オイルフィルター部品製造・販売】
従業員の不足。【工作機械カバー、半導体装置フレーム】
受発注の状況。【印刷】
受発注の状況。【工業用モデルの試作】
受注量が激しく変化をし、対応がキツイ。受注がある時は急でやり切れないボリュームだったり、無い時は臨時休業を余儀なくされました。部品の流通の影響でオーダーストップがかけられたり、とにかく先が読めない感じです。【工業製品塗装】
受注状況は改善しつつあるものの部材の納期が不確実な状況が続いている。【産業用モータ制御装置の製造販売】
受注減少、仕入額増、資金繰悪化。【光学ガラス加工業】
受注の減少。【印刷業】
受注が増えてるが単価が下落してる。【工業 OA 機器、樹脂加工】
取引先の新システム導入の影響で2021年度は積込みのため売上増だったが、10~12月は製品が動かず受注減。【各種製品の検査、包装及び加工】
主要顧客の仕事量が一向に増えてこない。【プレス金型用部材加工】
主原料のコーンがアメリカ産の為、コンテナ不足で入荷が遅れている。【ジャズポップコーン、ポップコーン原料豆】
資材費の高騰、サプライチェーンの混乱。【エンジンの開発、製造、調達、品質保証、建設、販売、サービス、発電システム、発電セットのリース、レンタル、ターボチャージャの開発、製造、調達、品質保証、販売、サービス】
資材価格上昇した上に、販売価格ダウンで大変です。【車用、検査治具製造】
仕入部品不足。【Cinpres(ガスアシスト装置)、アグアクリン(真空洗浄機)】
仕入難の先行きが見えない。【通信用ケーブル、周辺機器】
仕入単価上昇が止まらない→採算悪化→転嫁できず。【機械加工】
仕入単価の上昇。【金属加工業】
仕入材の値上りによる販売価格上昇に伴い、受注量が減少する事。【軟質ウレタンフォーム加工及びウレタンチップフォーム製造加工】
仕入れ単価が上昇している。機械加工などの納期が伸びている。購入品の納期も長納期になっている。【機械・装置の設計製作】
仕入れ価格の上昇よりも購入できない状況となっており、生産が滞っている。【電気電子機器】
仕入れの納期延長。仕入単価上昇。【生産用機械器具製造業】
昨年比では上回っているものの、一昨年比ではまだ6割くらいです。依然として厳しい状況にあります。【単品・小ロットの加工部品(治工具・試作・精密部品等)】
昨年のコロナより今年は、ここに来て順調の方向に向いている。【金属加工(ボルスター、ブッシュ、ブラケット)】
材料費の高騰。【工業用プラスチック製品の製造販売】
材料費の高騰。【食品】
材料費の高騰。【試作品製造、樹脂筐体量産】
材料等の購入品が高騰。【半導体部品、測定機器等の製造】
材料等、仕入れ単価の上昇。受注単価のコストダウン。【精密板金加工】
材料仕入価格の上昇。【ゴムパッキン加工】
材料価格の高騰。【電力機器、配電機器、免震・制振・制音デバイス】
材料の値上げ(国内、国外ともに)。【ヨットのマスト・リギン、製造、販売】
材料・光熱費の値上がり。【機械加工業(フランジ・シャフト・ブラケット等)】
材料、部品不足。【金型プレス加工】
材料、部品不足。【電子部品(発振器・センサー等)用ソケット】
材料、運賃の高騰。販売価格への転嫁がまだまだ進まない。【パッシブ除振台・アクティブ除振台・防振装置・各種防振ゴム・制振材・吸音材・除振工事・防振工事・制振工事・除振コンサルタント・振動測定及び解析】
購入部品の納期遅延。【製造機械装置の製作】
購入部品が全く入荷せず、特に電装系の納期がかかりすぎて装置を販売出来ない。【自動機械設計・製作・販売】
原料の値上がり【食品】

原油価格の上昇に伴い、コスト上昇が著しい。【FRP製品製造】
原油価格の高騰を受け、原材料の価格が高騰しており、それが製品単価に転嫁できない状況となっている。更に半導体不足の影響で、顧客の生産ストップなどがあり、大きく影響を受けている。来年にかけて可能な製品から値上げ交渉を進める必要があるが、逆に値上げ以外の提案も進める。【粘着製品の加工・販売】
原材料入手困難、仕入単価の上昇。【自動車部品製造、建機農機部品製造】
原材料の入手困難。副資材関連の値上げ。【プリント配線板製造】
原材料の高騰。【塗料の製造・販売】
原材料、副資材の高騰を価格転嫁出来るか。社員を募集しても中々応募がない。【角型紙管製造販売、乾燥剤充填加工販売】
原材価格の高騰。【食品素材の製品及び販売】
景気は相変わらず低迷している感じがあります。仕事量が減っています。【工場総合設備コンベアー】
金属等の原材料費の高騰がどこまで続くのか。【金属銘板及びシール、ステッカー】
業界的にコロナの影響を多大に受けている。【煙火用部品製造販売】
業界は好調傾向だが、半導体不足の影響による急激な悪化の可能性に対する不安。【プリント配線板製造】
客先設備投資増、材料納期の遅延、材料価格の高騰。【めっき装置】
客先の設備投資の不足の為、品物が流れない。【木箱の製造及び梱包】
開発の遅れ、半導体等海外頼みの部品調達遅れ。【自動車車体試作製造業】
加工費が押さえられている。【重電の送変電設部品、空調配管、ダイキャスト部品、特殊車輛エンジン部品、デューセル発電部品、ポンプ設備部品】
営業先の閉店が多くなる。
飲食店の酒類提供が可能になり、受注が戻ってくるかと思ったがそれほど戻らない。【ガラス瓶の製造】
引き合いは戻りつつあるが、お客様との行き来がまだ出来なく、受注活動ができていない。ZOOMでは、なかなか難しい。また、電子部品、シーケンサーなどの電気部品が不足しており、納期が3ヶ月～6ヶ月以上かかり、先が見えない。装置の注文をもらっても、いつ納品できるか確定ができなく、不安要素が多々ある。【超音波バリ取り洗浄装置の製造販売】
依然として材料入手困難が続いている。納期が未定だったり半年以上も先だったり、仕入単価が10倍以上になっている材料もある。材料入手困難の為、客先から先納期の受注も増えている。【産業用ワイヤーハーネスの加工】
やはりコロナ関連有り。【真空、科学、宇宙関連機器】
まだまだ コロナ過の影響が続きそうである。【建設器具機械 基礎機械器具 製造 修理】
ホテル、レストラン等の外食ルートの不況感。【水産物加工、販売】
シールド工事が一時に集まった。仕事が多かった(人手不足)。
コロナ問題は、落ち着いてきたように感じますが、各種原材料不足による部材調達が難しくなっている所が大ダメージです。【生産設備の設計、製作、修理、改造、メンテナンス】
コロナ過による 影響が続きそうです。【建設器具機械 基礎機械器具 製造 修理】
コロナ禍の影響で業界の景気が悪すぎ。【超音波洗浄装置】
コロナ禍による売上激減。【工業用自動機の開発・製造・販売】
コロナ禍での閉塞感。【ダイカスト製品の良品化補機製造】
コロナ禍が不透明の中、仕入・物量コストの高騰が経済活性化に気になる。【人工大理石加工】
コロナ影響。【溶接機器の製造販売】
コロナの影響で生活・仕事のスタイルが変わって、今後そのまま流れていくように感じる。【段ボール製函紙器一式・包装資材販売、段ボール家具製造販売 他】
コロナの影響で受注減少。
コロナによる第六波で海外市場の低下。【テーブルスポット溶接機設計、製造、販売、メンテ】
コロナでの影響継続中です。【省力機、機械加工】
コロナでイベント中止等で最悪。【不織布製品の企画製造販売】
ガス、ガソリン等の高騰により、経費や仕入資材単価上昇による収益の圧迫。【段ボール製品製造、販売】
建設業
民間の仕事(設計)が増加している。【建築設計・監理】
未だかつてない材料の値上がり。【内装業】

物価が上がって仕入単価も上昇(燃料・鉄など)しているが、全体的に工事の需要低迷が続いている状況。 【土木工事業】
物価が上がっているが、工事価格が上がらない。【木材工事業、建設機材中間処理業】
不景気感。【内装工事業】
販管費の上昇(物価の上昇)。
半導体不足による、商品の不足。せっかく個人消費が伸びているのにタイムリーにご案内しにくい。また、原油から始まる世界的なインフレを懸念しています。【管工事業】
半導体がダメになり材料等、仕入れが困難である。材料の高騰もあり厳しい。【電気工事業】
発注量減少。【公共事業】
売上不振。【外構工事】
買い控えを感じる。【電気工事、エアコン工事】
東京オリンピック後、現場が少なくなった。
電気通信事業は全般的に好調を維持しているように感じる。【電気通信施設の設計・施工・保守及びコンサルタント業務】
短時間労働者を含めた人員不足あり、材料価格の高騰も課題。【官公庁発注工事を中心とした建築、土木工事業】
相模原市の税制悪化。【造園、土木工事業】
設備老朽化。【電気工事業】
石油関係の材料調達の値上げ不安。【道路舗装工事業】
政府のコロナ支援が一部の業種に偏りすぎている。景気が回復傾向にあるというが、入手困難な物がまだまだたくさんあり、せっかく得た仕事に影響がある。【空調設備】
世の中が不安定では、企業の設備投資も民間の消費意欲も低減。【工場 住宅 リフォーム 公共】
数年続く売上不振で従業員の数を増やせない。【防水工事】
人材不足。【とび、土木工事業(堀削り等重機による作業)】
新規案件がすべて延期あるいは取りやめとなった。既存製品製造については、客先販売不振で減少している。全体として先行き不安。【電子回路基板設計/製造/販売】
商品入荷が遅れている。【建具工事業】
従業員不足。【基礎工事】
従業員不足。【土木工事業】
従業員が不足気味だが、感染症蔓延による業務悪化の可能性を考えると、安易に採用することもためらわれる。【建築物の設計、耐震診断、耐震補強設計及び工事監理】
受発注の動向。【消防施設工事】
受発注の減少、原材料の高騰。【特注家具設計施工】
受注数の減少。【家屋解体工事業】
受注高が落ちている。【塗装】
受注減少。【外構工事】
受注の減少。【電気設備工事】
手間がかかる。【リフォーム】
事業主が高齢化し、思うように仕事ができない、etc。【左官、タイル工事請負】
資材入手困難(給湯器、トイレなど。納期未定がいつまで続くのか見当もつかない)。【内装仕上】
資材の値上がりが激しい。【アンカー工事】
仕入単価の上昇に伴う見積(請求)の作成困難。【さく井工事業】
仕入単価の上昇。【地盤改良工事】
仕入単価の上昇。【建築リフォーム、建築基礎】
仕入単価。【給排水、衛生工事】
仕入材料の単価の高騰。【鉄骨建築工事】
仕入価格の上昇。【屋根工事】
仕入れ品の納入期日が半導体の影響で遅延(納期不明)。【管工事、電気工事、建築工事】
仕事減少、材料費上昇。【マンション造作工事(木工事大工事)】
昨年度より現場数が減少している【住宅リフォーム、LPG販売】

作業員の高齢化。【内装仕上工事】
材料等の納品が遅れ、工事が先延ばしになっています。【電気工事業】
材料代の上昇、受注減【。管工事業(設備)】
工事が減少し同業他社との競争が激しくなっている事と材料単価が急激に高騰し販売価格に転嫁できていない事が重なり、収益率がかなり低下しています。また、ガソリン価格が高騰し、会社の経費も増えています。上記理由から受注単価を上げたいですが、上げようとすれば工事が受注できず、経営が成り立たなくなり、従業員数の維持がままならなくなってしまいます。【鉄筋工事】
公共事業の受注不足(発注の少なさ)【造園、土木、工事管理業】
公共事業が増えることを期待している【特定建設業】
公共工事の受注がくじ引きによって決められることへの不安不振感。【交通安全施設設置、道路標示、道路標識】
公共工事の競争入札の激化で工事が落札出来ない。民間工事でも設備投資計画案件が減少し受注が減少している。又、資材単価・外部役務単価・各諸経費等の工事原価が上昇し収益率が低下しており、今後の経営状況は厳しくなる見込み。【土木工事の施工・建築工事の施工】
雇用状況。【防水工事】
雇用状況。【通信工事】
現場作業員の不足。【解体、土木、エクステリア、建築】
原油高に伴う住設機器の仕入れ価格上昇、給湯器を始めかなりの部材で品薄感がある。ウッドショックに伴う木材価格の高止まり及び品薄感。【リフォーム工事、賃貸管理、売買仲介】
原材料費高騰による仕入れ単価上昇 利益減少。【建築工事 企画 設計 管理 施工】
原材料の高騰。【建築業】
建設材料不足及び高騰。【一般建築】
建設業界においては大手は分からないが中小企業にとってはあまり明るい兆しは見えていないと思う。【新築工事、リフォーム等】
建設業に若い人が興味を持たない。【管工事業】
景気感・好不況の感触は不変、最近の消費者状況は減少、受発注の状況は減少、雇用状況は不変。【電気設備工事業】
景気は回復していないが、扱い品目が現在の需要にあっており、売上高は増。来期の後半は下降する可能性あり。【クリーンルーム、居宅介護支援】”
業界全体の人手不足。【総合建設業(建物の新築、増改築)】
回復基調にあるが半導体不足などに伴う、仕入れ商品の欠品が目立ちつつある。【管工事】
もっと「年内工事」が来ていたが、今年は減った。【エクステリアの工事、販売】
コロナ禍の影響により、仕事量と雇用が激減。【測量、大工工事業】
コロナの影響、個人消費減少。
コロナの為、商品不足。【リフォーム空調工事】
コロナによる、室内リフォームの受注減少及び、器具等の調達不透明。【衛生設備工事、リフォーム業】
コロナが変異したというニュースが出た時の世の中の暗さ。【造園、土木業】
コロナウイルスによる景気低迷。【消防施設業】
ウッドショック継続、半導体関連する商品の納期延期。【建設業】
ウッドショックにより木材価格の急上昇、品不足。【老人ホーム等建設】
インターネット等での広告、HP 新規、努力はしているが大きなごたえがない。【建築請負、木材販売】
9月以降、木材値上げ、半導体関係する住機の納期遅れ。【リフォーム工事】
8月から11月の受注が昨年の半分以下となっている。【管工事】

小売業・卸売業
輸出がコロナ前の水準に戻りつつある。【健康食品】
売単価が相場のため、仕入単価の調整が難しい。
売上げは変わらずの状態が続いているが経費は上昇傾向にあり苦慮している。【自動車部品卸(整備工場ガソリンスタンド、カーディーラー、中古車販売店等。)]
大手企業は円安(90~現113)で莫大な利益を出しているが下請けに反映されない。日本国内での物作り力を入れてほしい。【電子部品商社】

全てがコロナの影響で海外での物作りが激減。【医療内視鏡用マイクロレンズ、デジタルカメラ用レンズ等々、各種光学機器用レンズ輸出】
設備投資への二の足感であり、アミューズメント業界の低迷。【電子部品・製品の輸入販売及び業務用アミューズメント機器の開発・製造。】
新型コロナウイルスの影響から先行きが不透明。【地方卸売市場(青果)の運営】
商品が手に入りにくい。【電気設備機器卸売業】
仕入単価の上昇や半導体不足による資材供給の滞りが顕在化しています。【電設資材卸売業】
仕入単価の上昇とともに、発注しても従来より納期がかかっており、キャンセルなどで機会損失になるケースがある。【空気圧機器卸売り・一部製造】
仕入単価の上昇。
材料の値上りと品不足の傾向に注意して今後に取り組みます。【ねじ類の販売、スポーツジム】
戸建住宅、集合住宅、新築物件の不透明。【建築土木資材販売】
景気は好転していると思いますが、コロナの影響による受注低下の影響のダメージが減る。【OA機器販売、工具販売、防災用品販売】
景気の動向に売上が連動してきた。
感染症の状況による個人消費の変動。【飲料】
飲食業の低迷。【食器、消耗品、雑貨】
ベトナム問題が大きい。【管工機材】
スーパーの乱立が生産者の適正価格を破壊している。【生鮮青果物卸売業】
サプライチェーン問題で商品が入ってこない。【住宅設備機器卸売業】
コロナ禍において、外出自粛でアウター衣料の売り上げが不振【下着、化粧品、健康食品】
コロナで売上が伸び悩む。【乳製品卸】
コロナが回復しつつある中、売上が減少している。【次亜塩素酸生成器の販売、空気清浄機の販売】
クライアントとなる元請業者自体の売り上げが奮わない為、下請けとなるこちら側も売り上げが上がらない。コロナでの飲食時短営業や、民間事業場のリモートワークによる食堂閉鎖などにより、機器更新が進まない又は予算カットされる傾向があり、当方にも波及していると思われまます。【業務用厨房機器販売及び設置工事】
零細店は全てにマイナス影響が深刻である大中企業が優先される為です。【米穀酒類食料品、雑貨の小売店を営業】
流行の商品が余りない。子供の来店減少。【玩具(男子、女子玩具)プラモデル、カード類、駄菓子】
油、鶏肉等仕入金額の大幅増。【弁当、総菜等製造販売】
木材、ベニヤ、その他の仕入れの高値、地場のお客様の受注が少なくなっている。【木材、建材】
部品不足による長納期による経費が増加。人の流れが変わり消費変化が読めない。【自動車ディーラー】
繁忙期の差が激しく、従業員が過剰であったり不足したりする。【食品、菓子、カタログギフト等の販売】
半導体不足等による生産不足のため、売れ筋商品の仕入れが困難になっている。【二輪車販売修理】
得意先の高齢化による売上の低下。【家電販売、工事】
働きたい人材は多いが希望時間が重なり思うようにいかない。【コンビニ経営】
葬儀関係の売上減少が大きい。【生花、園芸品の販売】
全体的な消費の落ち込み。【印章販売】
生活保護受給者の利用が増え、代金回収ができない事例が増えた。【弁当、総菜】
世界的に半導体などの部品不足のため新車の製造が減少している。それにより中古車も減少しており、需要と供給のバランスが悪く、中古車の価格も上昇気味で、仕入数も少なくなった。【中古車、中古自動車部品等の販売及び輸出】
世界的に苦しい状況が続いているので、仕入れ単価が上昇しても、販売価格に反映させにくい状況なので利益率がかなり低下。お客様から、注文をいただいても生産がフリーズしているため販売することができないので、器具販売の売上も低下。来年も、コロナの変異株のウイルスの影響ができれば、さらに悪化すると見込み。【LP ガス販売、住設機器販売】
商品の入荷遅れ、欠品が続いている。【家電品販売、電気工事】
商品の入荷が滞る。海外生産品等。【釣りの販売】
循環は最悪。景気呼び水であるべき給付金の本当の目的を見失っている。日銀券がクーポン等論外。【酒類、飲料、煙草】
受注の減少。【バス】

受注において継続性に欠ける。【ワイヤロープ及び関連金具】
仕入材木、品不足。【木材、住機、新建材、合板】
仕入コスト、人件費及び、電気代含む設備費の上昇。【総合小売業(衣料、食品、住まい、暮らしの品、日用品)】
最近の消費者の買い控え。【(食品・雑貨等)スーパーマーケット】
今後の先行き等不安残る。【介護、福祉事業(レンタル、販売業)、その他】
国内外へ販売をしており、令和2年度は輸出は少なかったが、国内景気が良かった様に感じる。令和3年度は、国内取引が減り、輸出が増えるのではないかと感じている。【中古車輜及び、建設機械販売】
高額品が売れているが、客数はかなり落ち込んでいる。【美術品(特に絵画)の販売】
好調な売上が継続しているが、人員不足により業務が円滑に遂行できない現状もある。早急な対応が必要であると感じています。【健康食品の小売・卸し、商品名/玉葱皮茶など】
顧客の消費動向の変化、各家庭ごとの収入減。【メガネ、コンタクト、補聴器】
個人消費が衣料品以外へ向かっている感、強し。【総合衣料品販売】
原油高に伴いガスの仕入れ価格が大幅な上昇を続けている。販売単価に転嫁することが遅れるまた、仕入高に見合った転嫁が難しいため収益を圧縮している。【家庭用、業務用LPガス販売、ガス機器等販売】
原油高、商品が無い。【LPガス、燃料販売、リフォーム設備工事】
原油高。【石油製品】
原材料費、人件費の高騰を販売価格に反映させにくい。【パン製造販売】
原材料の仕入れ単価の上昇。【和菓子製造・販売】
景気感は大きく変わらないが、省庁の予算執行が少なくなってきた。前年度～今年度の新型コロナ対策の影響と思われる。【省庁向け消耗品・資材・機材の企画開発・販売、ネットショッピングモール出店／運営】
各商品のお客様満足度に味、品質の向上に取り組んでいる。【お惣菜、お弁当の製造販売】
外出自粛等により、消費者が減少しているのでは？閉店も考えている。【靴販売】
押し寄せる不況感。【金物小売】
一般薬が減少し、その分調剤(処方箋)が増加の為、売り上げはかわらず。【薬局】
悪質同業者の横行。
コロナ長すぎ。【家電販売】
コロナ禍による経済の悪化、コロナ禍による個人消費の低下。【アパレル雑貨】
コロナに対しての消費者の感覚がバラバラ。ニーズに対応しているのか。【学校衣料品小売】
コロナでのお客さんの価値観の変化と経済的な問題。【光触媒、空気触媒製品】
コロナ、オミクロン等出足が悪い。不安感があるのでしょうか。GOTOもその気にならない。【印章業】
オミクロン株の状況により、景気感が変わると思う。【寝具】
SNSの普及やポイント還元による消費者の離店傾向を強く感じます。【化粧品、服装雑貨】
9月頃は良好だったが、10月より悪化、原因不明。【スポーツ用品】

飲食業・サービス業
旅行需要の回復が遅い。【旅行業】
利用者は増加しているがそれに対応するヘルパーが不足していてその対応に追われている。【訪問介護】
来店客数が減少で売上が上がらない。【美容技術一般】
来店客の減少、客単価下落。【美容業】
来院数がコロナ前に比べて増加していない。【鍼灸院、接骨院】
様々な条件が解除され、人の流れも出てきたことで売り上げ上昇は期待できるが、再感染拡大が心配される。【飲食業、パーティー、イベントホール】
未だコロナの影響で回復見られない。【レストラン営業、不動産賃貸】
毎年、冬の時期は売り上げが減ってしまう傾向にある為、今後の見込みも難しい所。地域の生活支援のため、不安定になっている。景気悪化もあるが、生活保護の方が急激に増えてきている。【デイサービス】
平日夜の客足が伸びない。お客様の滞在時間がコロナ前より短い。そのため、客単価が低い。【割烹】
物件数減少顧客の購買意欲減少。【売買仲介、賃貸管理】
福祉業人材の確保が非常に厳しい。【精神障害者を中心とした就業継続支援B型事業所を運営】

部材、設備の納期遅延が顕著になり、業務に支障を来すようになっている。【研究開発】
不動産物件、特にビル、マンション(新築)価格の上昇。【不動産コンサルタント、不動産仲介、売買、権利調整】
不動産業の場合、仕入価格の上昇で購入ができない。販売の上昇してしまうので危険。【建売住宅の販売、土地及中古住宅購入と販売、仲介、賃貸業全般】
不動産価格の値上り、一般物品価格値より、来年前半は厳しい。【不動産の売買、賃貸、管理、保険の代理店】
不景気感が募ります。
不景気感。【一般貨物】
不景気。【ソフトウェア開発】
不況感は強く感じる。【整体マッサージ、便利屋業】
不況感、経済は確実に悪化している。【居酒屋】
不況感。【飲食、酒類】
不況感。【税理士業】
販売物件の減少。
半導体不足による IT 機器の納期遅延。【ITサポート・コンサルティング】
半導体枯渇による納期遅延と仕入高騰。【金融システムソリューション・データ変換・交換ソリューション・メディアコンバートサービス・ストレージシステムの開発・製造・販売・アプリケーション・ソフトウェアの開発・ストレージシステムの開発・製造・販売・コンピュータシステムのハードウェアおよびソフトウェアの保守サービス】
半導体減少による影響。【カーボディコーティング、カーフィルム】
売買 買いは動き強く、反響多い、売りは動き弱く、物件少ない。【売買仲介】
売上低い為、資金悪化。【プレス機械、産業機械修理業】
売上げの不振。【フィットネスジム】
燃料費の高騰。人件費の増加【廃棄物収集運搬、リサイクル中間処理】
燃料費の高騰。【タクシー】
燃料代の高騰。【工業製品、飲料、食品、精密機器】
燃料代の高騰。【酒類、建築資材】
燃料の高騰。【食品他】
年末以降、倒産する会社とそうでない会社が出てくるのではないか。【土地売買、テナント誘致、介護コンサルタント】
年初に予想していた業務が、コロナの影響でなくなってしまった。【企業経営に関するコンサルタント事業】
入店客数の変動はあまりないが、売上げ単価が低くなっている。【居酒屋】
鉄鋼及び非鉄金属の値上りと長納期。【プレス加工業生産支援及び環境・品質ISO支援】
地頭の良い社員採用が進まない。【不動産管理業】
設備器具を発注してもコロナ影響で現地生産が間に合わない等があります。【消防設備の点検設置】
設備の老朽化に加え、AI 等に対応していかなければならない現状が厳しい。【放送業】
整体院を1人で経営してしまして、予約がいつもいっぱいの人を雇わなければならない事。【全体の施術】
人手不足と、販売先減少、不況感は大きい。【運送】
人手不足、燃料高騰が危惧されます。【一般貨物自動車運送】
人手不足。【税務書類の作成】
人材不足。【人材派遣、人材紹介】
人の動き(転居)がにぶい。【貸家業】
人の交流が減り、情報の取得、申し込みが激減。【不動産仲介】
新型コロナウイルス感染症の影響。【インキュベーションセンターの運営】
新型コロナウイルスによる打撃が未だ続いていて客足が伸び悩んでいる。【接骨院】
新型コロナウイルス第6波の警戒を鑑みて依然、不透明にて期待が持てない事、個人消費の低迷感が歪めない状況。当社は、B TO B 及び B TO C の為非常に経営戦略が厳しい。現状、原価材料の高騰等、不安材料しかない。【墓石清掃、墓参代行、墓石クリーニング、墓石コーティング、埋葬、法要、納骨、その他石材特殊清掃、石造物重要文化財等の清掃】
新型コロナウイルス対応。【総菜業、からあげ、焼き鳥専門店】

新型コロナウイルス感染症による影響が続いており、テナント撤退後の新規テナント募集での苦戦や、既存テナントからの賃料減免、賃料改定等の要望により売上が減少した。【不動産賃貸業】
新型コロナウイルス感染症による、人件費、感染予防に関わる経費の増加。【認知症グループホーム、通所介護・有料老人ホーム運営】
新型コロナウイルスの感染拡大によって、外国人の入国が少なくなっていることが、不振の大きな原因となっている。【行政書士業】
新型コロナ オミクロン株がどうなるか心配。【居酒屋】
新規拠点開設予定のため従業員不足。【障害福祉サービス業】
消毒の感染症対策への経費が増えている。【ヨガ・ピラティスのレッスン】
従業員不足。【清掃業】
周辺ホテルの価格競争により客単価上げることができず、客単価の減少。緊急事態宣言解除後、飲食店の時短解除後、稼働率80%まで回復している。【ホテル運営業】
受発注の状況。【自動車のサイマル、金型、NCデータ及び部品の設計、製造 3Dリバースエンジニアリング】
受注減少による売り上げの減少、人員削減の難しさ。【検査・梱包】
車両を保有していますのでガソリン代の高騰での仕入単価の上昇が気になります。【廃棄物処理業(資源)】
車で移動の為、ガソリン代が高くなってる事。【ビル、ハウスクリーニング】
事業の協力者の減少。【電気保安業務】
資格や講習のコロナウイルスによる不受講や不開催。【設備メンテナンス、遊具体育器具メンテナンス】
市の受注減少(地元企業応援する条例が制定しているのに市外企業の参加増)。【建築物管理】
仕入単価の著しい上昇。【焼肉、韓国料理】
仕入単価の上昇。【寿司屋】
仕入価格が上昇している。販売価格への上乗せをどうするか。【建築物清掃】
仕入れ単価がとにかく上がりすぎ。【寿司】
仕入れに関し、価格上昇と納期の遅れの影響ができた。【産業廃棄物処理業】
仕入がこない。【自動車】
昨年は新型コロナウイルスの影響による活動量の低下を顕著に受けたが、持ち直している感はある。福祉という公益事業の担い手としては報酬単価のアップ、地域からの支援等で収益改善につなげたい。【福祉サービス事業】
材料費の高騰。【不動産管理、建設業(リフォーム)】
採用難が継続、また新卒の配属先が見つからない。【人材派遣業】
採用相場が高騰し応募合戦状態。【人材派遣・構内請負業】
最低賃金の上昇による人件費の上昇及び人材不足。【税理士業】
最低賃金の高騰。【ビルメンテナンス】
最近の消費者があまり動いていない。飲食店、外食にお金を使っていない。【飲食、ワイン】
再度、変異(オミクロン株)によりGOTOの状況も見えない今、中小旅行社は瀕死の状態です。【旅行業】
今年は好感するが長続きはしないだろう。【航空写真測量】
今後の売り上げについて、追い風と下落が同時です。【土業】
今後コロナでの影響があるかもしれません。【シロアリ消毒、その他害虫駆除】
今期だけではなく人口減少の取組みをどのようにしてゆくのかが対策を練ってゆかねばと思う次第です。【不動産管理業】
今期から製品の値上げ、来期まで続く影響が心配。【ポンプ、モートル修理、販売】
好不況感の感触。【接骨・鍼灸】
好不況の2極化鮮明。【両替、預金、為替業務】
雇用状況の悪化。【介護、保育】
雇用状況。【一般貨物】
雇用者が退職し、人材を確保出来ない。人手不足。それに加え、ガス代等の経費の上昇。又、仕入れ単価も上がっているのが最悪。【理美容及びそれに関する商品の販売】
雇用や事業拡大したくても資金調達困難。【保険代理業】
個人消費の低迷を強く感じます。【婚活】
原油高、人材不足の原因が最低賃金の上昇にある？【一般貨物】
原油価格高騰。【自動車部品】

軽油、尿素の価格高騰。【一般貨物輸送、建機回送、重量物輸送】
経営努力によって売り上げの上昇は見込めるが、それ以上に経費が単価上昇等により増加している。【介護保険事業】
景気状況の変化。【情報処理サービス業】
景気感は良くなっているが燃料費や材料の価格が上昇し採算が合わなくなってきた。【一般貨物運送事業】
景気の先行きが不透明。【売買、管理】
景気の先が見えない。コロナの動向。【土地建物の売買の仲介。アパート、マンション、工場、倉庫、駐車場の賃貸の仲介】
緊急事態宣言等の全国的な解除・新規感染者の減少による個人消費活動の拡大。【中小企業金融】
緊急事態宣言解除後から人の流れが一気に変わり売上が好転しています。【整骨院】
緊急事態宣言解除に伴う経済の回復が見て取れるが、原油高、金利先高感、新型コロナ株の拡散動向から第四四半期に「景気の踊り場」で停滞する予想してます。【不動産売買・仲介・管理】
緊急事態宣言解除に伴い、生活の中で人と会う機会が増えた為か身だしなみを整える為にうちを利用なさる方が急に増えた。10月の売上が今年最高になった。しかしその反動か11月はやや低調だったが、均せばややプラス。【理髪】
緊急事態宣言は解除となりましたが、オミクロン株の出現で第6波がいつ来るのか、消費者は様子を見ている状況です。【美容業】
緊急事態宣言の長期化などにより客足がほぼ止まった。【土地建物買取・販売及び仲介、賃貸管理業】
業者の仕事が減少。【自動車板金、塗装】
客単価の低迷。【ネイルサロン】
客足の減少。【金券、リサイクル品売買】
客の高齢化。【理容業】
儀式に対する人々の意識の変化、簡素、簡素化。【葬儀、法要】
回復に時間がかかる。【損害保険、生命保険販売】
介護報酬改定で事業内容からかなりの収益減少となり厳しい。コロナの影響もあり利用者のキャンセルも多い。今後も厳しい状況が続くと感じている。【福祉、介護、医療】
一年前より景気回復している実感がある【。証券業】
依頼はあるのに、ベトナムのロックダウンの影響で製品部品が入らない。【ポンプ修理、交換などメンテナンス】
以前のコロナによる作業延期、作業中止等、平常時には戻らない状況が続いている状況です。【高圧洗浄作業】
ランニングコストを下げなければ経営に支障を来す。事務所家賃等の賃貸料が重荷に感じる。【中小企業経営コンサルティング業、生命保険代理店】
やっと元の時間帯で営業できるようになった。しかしお客様の生活様式が変わったのだろうか、お客様の引けてしまう時間が早い。深夜0時を回ると激減する。真っ直ぐ帰宅して家で食事をして余った時間を自分らしい使い方を。飲酒も癖のものだったのだろう、回数も減り深酒もしない。外食そのものの回数も減少していると聞き及ぶ。物価は高いなり、給料は下がる。まさしくスタグフレーションが始まったかのようである。【ラーメン専門店】
ハローワーク・有償求人媒体に常に求人を載せているが人が集まらない。【バイクメンテナンス(出張)】
パートの収入壁の為昇給不可、勤務時間延長不可。
パート、アルバイトの不足。
なんとか営業していますが、とにかく苦しい。【そば、うどん、和食】
スクラップ、産業廃棄物の顧客からの排出量が少なくなった。【スクラップの引き取り、産業廃棄物の引き取り】
コロナ問題。【鍼灸院整骨院】
コロナ不況。【学習塾】
コロナ等全てが下落している状況。【梱包業、煙火業研々材料検査、打ち上げ花火】
コロナ第6波の懸念による消費者の鈍化。【レンタカー、カーリース】
コロナ第6波。【建物清掃サービス】
コロナ前に戻るには当分時間がかかる予想、營收8割ほど【一般旅客自動車運送事業】
コロナ生活様式変動。【一般旅客自動車運送事業】

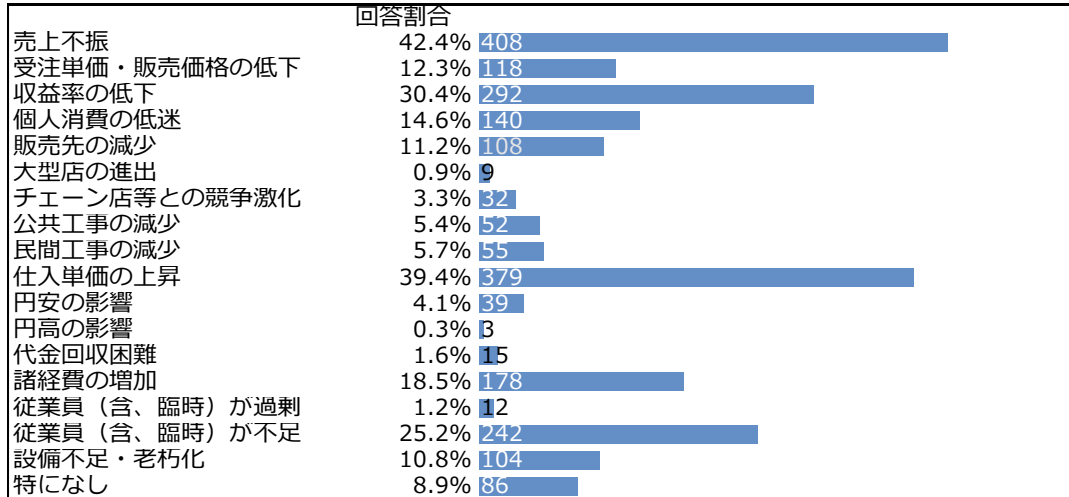
コロナ感染拡大状況と業界への影響。【給食受託業】
コロナ感染の伴う発注減少。【建築設計・監理・建物等移転補償コンサルタント】
コロナ禍の中で昨年の経済落ち込みが弊社にも大きく影響したが、今年の4月ごろから経済の上向きと同時に弊社の売上も増加した。しかしながら、コロナ前と比較すれば、まだ、安心できない状況にある。【梱包業、倉庫業】
コロナ禍の中選考に不透明感あり。【子育て支援の家運営、宅地分譲企画販売、土地建物仲介、不動産管理仲介、幼児・学童保育】
コロナ禍の後影響。【郵便物の配達業】
コロナ禍の厳しい状況から、お客も戻りつつあると考えているが、例年あったような忘年会等の大型の予約が入らず、経営は厳しい。また、完全に戻ったわけではないのに、補助金等の支給も無くなり、今後が不安だ。家賃が大きい店舗にとっては、補助金も不足だった。【ピザ、ビール、グリルチキン】
コロナ禍の解消。【組合事業】
コロナ禍の影響を受け、規模縮小や事業所廃止等の事業所が有り、今後経営に影響を与える可能性も有り。【労働コンサルティング】
コロナ禍の影響による社会全体の変化の状況が、市場経済も含めてどこまで進んで行くのか、コロナ禍が終息後においても同様であり、それに対する明快な指標がない現状に大いなる不安を感じる。消費者が今後どのようなものを求めていくのか、我々が営んでいる業種・業態が果たしてマッチングするのか等、これまでに体験したことのない世相となり、自らの変革では対応しきれない事態が起こるのではないかと云う不安の中で見えないものを掴もうとする模索を余儀なくされる時代が到来するのかと云う不安に、優れた英知と慈愛に満ちた指導者の登場を期待するようになるのでは・・と感じる。【1.不動産の売買・仲介業務、2.不動産賃貸の媒介、3.賃貸不動産の管理受託(営繕業務含む)、4.不動産活用に関するコンサルティング業務】
コロナ禍の影響で大型のゴルフコンペやゲスト客の数は減少し、コロナ前には戻っていないが、健康的な屋外スポーツのゴルフ人気の流れに乗り、今年に入って新たな会員の入会件数が増えている。また売上面ではアクティブな会員の来場数が大きく伸びた為、増収に繋がっている。【会員制ゴルフクラブの運営】
コロナ禍の影響でダイレクトな物価上昇したり、仕入れて出来ない商品がかなり増えてきている。お客様は徐々に回復して来て入るが先行き不明。少し予約など入ってきてますがまだ全盛期の流れでは無い。年末に向けての宴会などほとんど無し。【居酒屋】
コロナ禍の影響か、現業員採用について応募状況は比較的良化している。年齢層も従来よりは下がりつつあり、高齢者主体の当業界にとっては不幸中の幸い感がある。【清掃・設備保守・警備業務】
コロナ禍の影響。【葬儀、仏具小売】
コロナ禍のなか経済の上向きなっているが、変異株の影響が不安。【梱包業】
コロナ禍による取引先減少で売上不振の中、最低賃金は上昇し続けていることもあり、人件費の捻出が年々厳しくなっている。【テニススクール 運営】
コロナ禍による企業の経費削減。【観葉植物レンタル】
コロナ禍とともに価値観の変化による販売単価が減少している。【葬祭業】
コロナ禍で売上減少。【理容業】
コロナ禍での締め付けが厳しかった関係上、解除されても元には戻らない。【中国料理と定食、飲食】
コロナ禍が続き当社得意の対面営業が行えず、リモート含めた対応にしようとするもあまりうまく行っていない。リモートだけれど顔の見える営業はどうすればできるかを模索中。【賃貸不動産の管理業務】
コロナ禍が終息を迎えるまで続くと思う。【合気道道場】
コロナの終息が見えてきて色々な活動が活発になり外出等が増えたことにより優先順位が下がったように思う。【接骨院鍼灸院】
コロナの影響がまだ続いている。【エアーコンプレッサーのメンテナンス販売】
コロナの影響は大きい。当初の予定より事業を縮小した結果、好転しつつある。
コロナの影響による外食者の減少。【ランチ、ドリンク、cafeセット】
コロナの影響により、法人需要が減少し大口の宴会予約ほぼ入らなくなった。売り上げはコロナ前の70%程度が限界かと。不確実な厳しい状況が続く。【飲食業】
コロナの影響が継続しており、お願いする講習会に参加者が少ない。【厚労省管轄法令の要点を企業に説明する。人事労務のあり方を企業に指導する。】
コロナの影響がまだ続いている。【テナントビル運営】
コロナの影響がまだある。【海外引越業】

コロナの影響がどうなるか？【賃貸管理】
コロナの影響がここまで経済に及ぼすとは考えませんでした。これからは新しい事業形態を考えていきます。【イベント関連等】
コロナの影響。【治療院】
コロナによる顧客の販促経費の削減。【総合広告代理店】
コロナで二極化している消費者マインド(購買意欲・行動意欲)によるブレた景況感に左右されている状況。【屋外広告業(看板製作・設置)／電気工事業】
コロナで特に…。【福祉関連】
コロナが落ち着きはじめ、販売先が増加してきた(可能性がある)。【移動販売にてコーヒーの販売】
コロナウイルスによる風評被害がどこまで影響があるかどうか。【居酒屋】
コロナ、半導体不足による売上減。【ビルメンテナンス業】
これまでに経験のない負のスパイラル。【鋼材、自動車部品、LP ガス】
”この先の見通しが付かず、取引先の方も様子を見ている状況が続いています。長期に渡って現状が続きますとスタッフの人件費が大きいためその部分を見直すようになりそうです。【広告代理業、チラシ制作、看板製作、ホームページ制作】
クライアント様の業績悪化。税理士事務所】
クライアントによる公的な補助金(助成金)がらみの受注が増加した。【編集・デザイン・印刷】
オミクロン株のウイルスが再流行の懸念、休業要請の心配。【飲食業、居酒屋】
インバウンドが復活しないと厳しい。【外国人向けの料理教室】
イベントの早期の再開。【観葉植物のレンタル】
7-9月期に比べて、急激に悪化しているように思われる。今後の動向は、注意深く見ていきたい。【旅行サービス、物産品販売】
4月～9月分の仕事が延期にて10月～12月に移ってきた。【旅行業】
4～6日設計受託業務が全く無かったか、7月位から少しずつ出だし、10月位から業務量としては、多くなって来た。但し安価である。【設計受託・設計請負業務・労働者派遣事業・求職者支援訓練事業】
10月より仕事量増加傾向、燃料費(灯油、軽油、ガソリン)上昇で困った。【産業廃棄物(汚泥)のリサイクル】

経営上の問題点

単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=962)



製造業

今回調査を見ると、「仕入単価の上昇」が大幅増加、「従業員が不足」、「諸経費の増加」、「円安の影響」も増加した。「売上不振」が低下した。売上の改善は続き人手不足が発生し、それと同時に仕入れや経費の増加により収益率が低下している状況がわかる。

	R2年10~12月 n=272	R3年1~3月 n=235	R3年4~6月 n=261	R3年7~9月 n=261	今回調査 n=224
売上不振	72.1%	71.1%	56.3%	51.4%	46.9%
受注単価・販売価格の低下	15.4%	18.3%	27.6%	18.0%	12.9%
収益率の低下	29.8%	32.3%	5.7%	35.9%	33.0%
個人消費の低迷	7.4%	4.3%	11.1%	6.1%	3.1%
販売先の減少	18.8%	12.3%	0.4%	11.4%	12.5%
大型店の進出	0.0%	0.4%	0.8%	0.8%	0.0%
チェーン店等との競争激化	0.4%	0.0%	3.8%	0.4%	0.9%
公共工事の減少	4.4%	3.0%	5.4%	1.6%	1.8%
民間工事の減少	7.0%	5.1%	36.4%	2.4%	1.8%
仕入単価の上昇	11.0%	22.6%	2.3%	47.8%	61.6%
円安の影響	0.7%	1.3%	0.4%	2.0%	6.3%
円高の影響	1.5%	0.4%	1.5%	1.2%	0.4%
代金回収困難	0.7%	0.4%	14.9%	2.4%	1.3%
諸経費の増加	11.4%	14.0%	3.4%	13.1%	16.1%
従業員(含、臨時)が過剰	5.9%	5.5%	11.9%	2.0%	1.3%
従業員(含、臨時)が不足	10.3%	14.9%	23.4%	16.7%	21.4%
設備不足・老朽化	19.9%	25.5%	5.7%	20.8%	16.1%
特になし	5.9%	6.4%	5.7%	4.1%	2.7%

経営上の問題点（業種別）

建設業

「仕入単価の上昇」が大幅に増加し、「諸経費の増加」、「収益率の低下」、「従業員が不足」、が増加した。「公共工事の減少」が減少している。

売上の減少は続いており、製造業と同様に仕入れや経費の増加が収益を圧迫しているようである。

	R2年10~12月 n=180	R3年1~3月 n=155	R3年4~6月 n=182	R3年7~9月 n=182	今回調査 n=184
売上不振	41.7%	45.2%	40.1%	34.3%	34.8%
受注単価・販売価格の低下	29.4%	24.5%	33.0%	17.5%	19.6%
収益率の低下	33.9%	25.8%	9.3%	27.7%	29.9%
個人消費の低迷	10.0%	11.0%	6.0%	7.2%	5.4%
販売先の減少	8.3%	10.3%	0.5%	7.8%	5.4%
大型店の進出	1.7%	1.9%	1.1%	0.0%	0.0%
チェーン店等との競争激化	3.3%	1.9%	20.9%	1.8%	2.2%
公共工事の減少	22.2%	21.9%	30.2%	18.7%	19.6%
民間工事の減少	35.0%	32.3%	27.5%	28.3%	21.2%
仕入単価の上昇	16.7%	16.1%	4.4%	36.1%	46.2%
円安の影響	0.6%	1.3%	1.1%	0.0%	3.3%
円高の影響	0.6%	0.6%	2.2%	0.0%	0.5%
代金回収困難	0.6%	1.3%	9.9%	3.0%	0.5%
諸経費の増加	7.2%	6.5%	1.1%	13.9%	15.2%
従業員（含、臨時）が過剰	0.6%	1.3%	29.7%	0.0%	0.5%
従業員（含、臨時）が不足	30.6%	24.5%	8.2%	30.1%	31.5%
設備不足・老朽化	5.0%	5.8%	1.6%	4.8%	6.0%
特になし	4.4%	5.2%	2.7%	4.2%	7.1%

小売業・卸売業

「売上不振」、「仕入単価の上昇」、「諸経費の増加」、「個人消費の低迷」が高止まりしたままです。全体的に厳しい状況である。「円安の影響」も若干増加し、輸入品の仕入れ単価上昇につながっている。

	R2年10~12月 n=161	R3年1~3月 n=134	R3年4~6月 n=134	R3年7~9月 n=166	今回調査 n=158
売上不振	53.5%	50.7%	53.6%	51.5%	51.9%
受注単価・販売価格の低下	10.1%	15.7%	27.7%	8.3%	12.0%
収益率の低下	28.8%	29.9%	36.1%	34.9%	34.8%
個人消費の低迷	24.5%	35.1%	20.5%	32.0%	29.7%
販売先の減少	17.9%	28.4%	9.0%	24.3%	21.5%
大型店の進出	0.7%	2.2%	9.0%	3.0%	3.2%
チェーン店等との競争激化	3.8%	6.7%	2.4%	10.1%	10.1%
公共工事の減少	2.6%	3.0%	1.8%	4.1%	2.5%
民間工事の減少	2.6%	2.2%	22.3%	5.9%	2.5%
仕入単価の上昇	5.4%	20.1%	3.6%	35.5%	33.5%
円安の影響	0.0%	4.5%	0.0%	3.0%	6.3%
円高の影響	0.7%	0.0%	3.0%	0.6%	0.6%
代金回収困難	2.4%	1.5%	11.4%	2.4%	3.2%
諸経費の増加	18.2%	11.9%	4.2%	13.0%	20.9%
従業員（含、臨時）が過剰	1.7%	1.5%	9.6%	0.6%	1.9%
従業員（含、臨時）が不足	20.8%	11.9%	13.9%	9.5%	12.7%
設備不足・老朽化	13.0%	13.4%	4.8%	8.9%	5.7%
特になし	11.8%	5.2%	5.4%	6.5%	6.3%

経営上の問題点（業種別）

飲食業・サービス業

「仕入単価の上昇」、「従業員が不足」、「諸経費の増加」が増加し、「個人消費の低迷」、「売上不振」が減少した。前期同様、売上が回復し従業員が不足する事業者が増えている。また仕入や経費の増加が続いている。

	R2年10~12月 n=424	R3年1~3月 n=408	R3年4~6月 n=418	R3年7~9月 n=418	今回調査 n=396
売上不振	53.5%	52.0%	46.9%	44.0%	39.6%
受注単価・販売価格の低下	10.1%	13.0%	23.7%	8.0%	8.6%
収益率の低下	28.8%	34.3%	22.0%	27.3%	27.3%
個人消費の低迷	24.5%	25.0%	14.4%	25.3%	19.2%
販売先の減少	17.9%	18.6%	2.9%	13.8%	9.1%
大型店の進出	0.7%	0.5%	1.0%	1.3%	1.0%
チェーン店等との競争激化	3.8%	1.7%	5.3%	3.0%	2.5%
公共工事の減少	2.6%	4.4%	5.0%	4.8%	2.0%
民間工事の減少	2.6%	3.7%	12.7%	4.5%	2.0%
仕入単価の上昇	5.4%	7.4%	1.4%	16.3%	26.0%
円安の影響	0.0%	0.5%	0.2%	0.3%	2.3%
円高の影響	0.7%	0.7%	2.6%	0.0%	0.0%
代金回収困難	2.4%	2.5%	17.2%	2.0%	1.5%
諸経費の増加	18.2%	18.1%	5.3%	15.3%	20.5%
従業員（含、臨時）が過剰	1.7%	1.2%	15.8%	1.8%	1.3%
従業員（含、臨時）が不足	20.8%	18.1%	16.0%	23.0%	29.3%
設備不足・老朽化	13.0%	14.5%	14.6%	13.8%	12.1%
特になし	11.8%	11.8%	13.2%	11.3%	14.4%